

昨年度に引き続き、「高島市老人クラブ連合会
長」の役職を担わせてもらっています。
もとよりその器ではありませんが、会員皆様方
の温かいご指導とご協力を頂きながら、大任を果
たして参りたいと思っています。

近年の目まぐるしく変化する社会情勢や高齢者
自身の意識の変化による会員数の激減、更に追い
打ちを掛けるように「新型コロナウイルス感染
症」の蔓延による事業推進の停滞等々、老人クラ
ブ活動を取り巻く環境は極めて厳しいものがあり
ます。

今までの事業の繰り返しでは、もはや明日は
ないと思つてあります。

変化する社会、高齢者の意識の変化に対応でき
る事業活動を見出しが、私に課せられた責務
であると思つています。

しかし残念ながら、今、私に妙案がある訳では
ありません。私も微力ながらその解決策を見いだ
せるよう、会員皆様方のお知恵等を拝借しながら
努力して参りたいと思つております。

高島市老人クラブ連合会
会長 鈴木 庄十朗

『ごあいさつ』



高島市老人クラブ連合会
会長 鈴木 庄十朗

『最後に一言』

『人生百年時代』

長い人生どう生きるか。
達者で長生き。

これは高齢者共通の願いです。

識者の話では ①食事 ②運動 ③社会参加
だそうです。
①と②は自分一人で出来ますが、③の社会参加
は一人では出来ません。
③には、地域に密着した「老人クラブ」こそが、
一番の社会参加の受け皿になると思います。



第16号

発行・編集 広報委員会
〒520-1821 マキノ町沢1410

TEL 27-1132
令和6年3月吉日

引き続きまして、皆様
方の倍旧のご指導とご支
援を賜りますよう、ひと
えにお願い申しあげます。
会員皆様のご健康とご多
幸、そして更なるご活躍
終わりにあたりまして、
終わりにあたりまして、

さあ皆様、
「老人クラブ」に
加入して
楽しい人生を
送りませんか!!



高島市老人クラブ連合会

令和5年度

【役員・評議員名簿】

会長 鈴木 庄十朗 (安曇川支部長)	副会長 岸本 勲 (朽木支部長)
理事 松本文男 (今津支部長)	副会長 岸本 勲 (朽木支部長)
理 事 鎌田忠夫 (今津副支部長)	副会長 岸本 勲 (朽木副支部長)
副会長 清水信太郎 (朽木副支部長)	副会長 秋永安次 (安曇川副支部長)
副会長 古田富美子 (安曇川副支部長兼女性代表)	副会長 山本紘一 (高島支部長)
評議員 赤崎太一郎 (マキノ支部代表兼創造推進員)	評議員 金田啓 (高島副支部長)
評議員 前川弥嗣 (今津創造推進員)	評議員 澤田龍治 (朽木創造推進員)
事務局 吉原康和 (高島市創造推進員)	評議員 竹若孟 (安曇川創造推進員)

高齢者の皆さん!! 「老人クラブ」へ入会してみませんか!! お待ちしています!!

一緒に活動して「新しい出会い」を見つけてみようではありませんか!!

老人クラブへの入会は、60歳以上の方なら、どなたでもご入会出来ます。

身近なところに、「新たな出会い」があります。

少子高齢社会が著しく進展しています。若者自らが残された人生を送らなければなりません。

それには、高齢者同士がお互いに支え合い、励まし合い、そして住み慣れた地域で共に過ごしていくことが大変重要な事です。是非、多くの仲間がいる「老人クラブ」に加入し、残され人生を助け合い、生きがいと歓びのある日々を送ろうではありませんか!!

各事務局連絡先

※お問い合わせは、次の老人クラブ連合会
各支部までお気軽にご連絡下さい。

マキノ支部	(27) 1132
今津支部	(22) 5200
安曇川支部	(32) 1944
朽木支部	(38) 2630
	FAX (36) 8185
	FAX (36) 8186
	(38) 2951

主な年間行事等

- 高島市老人クラブ連合会 理事会
- 高島市老人クラブ連合会 総会・研修会 6~7月
- 高島市老人クラブ連合会総会・研修会 6~7月
- 高島市老人クラブ連合会
- グラウンドゴルフ大会

9~10月 5月

会員研修会を開催!!

昨年の12月14日（木）観光物産プラザにおいて、市内5支部約50名の参加のもと、令和5年度の

本年度の活動内容

滋賀県老人クラブ大会が開催される!!

昨年の11月22日（水）栗東市の栗東芸術文化会館「さきら」において、第62回目となる滋賀県老人クラブ大会が、滋賀県、栗東市等の後援を得て、滋賀県知事（当日は代理）を来賓に迎え、県内各地からのクラブ員の参加のもと「のばそろ！健康寿命、担おう！地域づくりを」のテーマで、新型コロナウイルス感染の感染対策に配慮しつつ、午後から開催されました。

当日は、功労のあつた方々や団体に対し、知事表彰、県老ク連会長表彰等が行われ、その後、大道芸人「たつきゅうさん」（田久朋寛さん）のユーモアセラピー「大道芸」「笑いと健康・笑いの体操」の大通芸をはじめ、健康長寿の秘訣などについて、ユーモアたっぷりの講演を聞かせていただき、笑いが健康に大変良いことを再確認させていただきました。大笑いのなか有意義な大会となりました。

**市長杯の大会成績は
次のとおりです。**

- | |
|------------------|
| 優 勝：竹若 孟さん(安曇川) |
| 準優勝：金田 啓さん (高島) |
| 第3位：杉本 勤さん(マキノ) |
| 第4位：柴原 忍さん(安曇川) |
| 第5位：藤井 智紹さん(安曇川) |

**第一ブロック大会の成績は
次のとおりです。**

（高島市老ク連の成績）

- | |
|-------------------|
| 優 勝：柴原 忍さん (安曇川) |
| 準優勝：大鉢 純樹さん (朽木) |
| 第3位：中村 精三郎さん (高島) |
| 第4位：山下 茂さん (朽木) |
| 第5位：清水 信太郎さん (朽木) |

「老ク連会員研修会」が開催されました。当日は、最近活用が増えてきた「マイナンバー」について、市の市民課、保険年金課より、制度の概要や使用方法等の説明を受けました。続いて、高島マジックの皆様から「マジックショー（健康と笑い）」を拝聴させていただき、大いに笑わせていただきました。いづれも今後の高齢者の日常生活には大変参考となる講座で、有意義な一時を過ごし、実のある研修会が実施出来ました。

感染防止に配慮し、市長杯と第一ブロック グラウンドゴルフ大会を開催!!

「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の分類が「第2類」から「第5類」へ移行後、はじめての「市長杯グラウンドゴルフ大会」と「第一ブロックグラウンドゴルフ大会」を感染対策に配慮し、市長杯は昨年の9月29日（金）、また第一ブロックの大会は10月20日（金）にいざれもマキノピックグラウンドグラウンドゴルフ場において、会員皆様のご理解とご協力を得て開催しました。当日は、終了までの天候に、支障が出た時間もありましたが、終始お互いに交流を深めると共に、日頃から磨いた技術を遺憾なく発揮できる有意義な大会となりました。

マキノ支部 「回想?! この先を憂う」!!

10年前（平成25年）の支部発行広報紙を開いて見ると支部長さんはもとより、支部内19クラブの729名の会員がおられ、役員名にはお歴々の氏名が残る。

活動方針には「急激に進む高齢化と共にめぐつてくる認知症や孤独死など諸問題への対応が不可欠な時代となつてきました」として、

1. 全国三大運動の実践（健康・友愛・奉仕）

2. 楽しいクラブづくり（多様な活動）

3. 活力あるクラブづくり（若手育成・後継リーダー育成）

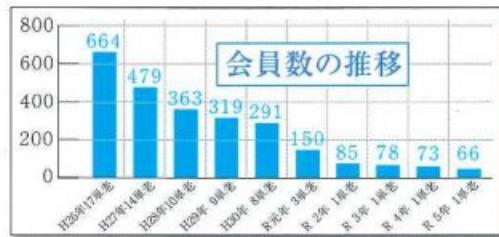
4. 戻らむクラブづくり（会員増強運動／數は力なり）

事業部の体制も健康部・レクリエーション部・教養部で盛大に活動されている。にもかかわらず、皮肉なことに年々クラブ数・会員数が減少。正にデータが示すとおり力も無くなつてきている。

平成30年4月、私は単老人会長として、何も知らぬままに支部の会長会に出席したところ役員のなり手も無く、支部長・事務局不在の事態。そのため、支部を解散、老ク連退会が決議される事となり、代表によつて退会の手続きをされるも認められず、存続を余儀なくされた。

そんな中、図らずも私が事務局を担当する事となり、2年、4年が経ち6年目も過ぎようとしている。

この間、マキノの灯りを消さないため市老ク連に残り続け、支部規約の改正・活性化検討委員会の立ち上げや会員増強のための施策を繰々試み



たが成果は無く、風前の灯で絶望的な状況は変わらない。

また、住民自治協議会設立準備会の委員選出の依頼がマキノ支部にあり、自らが委員となつた。

その説は、老人クラブの再興は老人クラブの力量だけでは無理であり、単独での再興はあり得ないとの思いを実現するのに住民自治協議会の仕組みづくりが渡りに船になるものと考えたからである。

住民自治協議会の仕組みづくりにおいて、各集落の知識・技術・経験豊富な高齢者が一致団結してその原動力になるのでなければ「持続可能なまちづくり」も単にスローガンに終わりかねない。

区・自治会長さんの下で老人クラブの再興を図ることが双方にとっての救世主になり得るものと思う。

つまり、住民自治協議会は地域の区民住民を代表する区長・自治会長がその中心に居るので無ければ、真のまちづくりはナンセンスです。

各集落の区長・自治会長がまち協の構成員であれば、そこに寄せられる課題を効率的につまり、住民自治協議会は地域の区民住民を代表する区長・自治会長がその中心に居るので無ければ、真のまちづくりはナンセンスです。

組織化された高齢者に他ならない。

区・自治会長さんの下で、この様なしくみを構築する事がボトムアップの醸成に繋がり、「持続可能なまちづくり」が実現出来るばかりか、高齢者の生きがい・健康寿命の増進にも繋がり、一石二鳥である。

2025年問題が懸念される今日、10年以上も遅れてまちづくりに取り組む高島市は、その問題を問題のまま次世代に残さない「仕組みづくり」が喫緊の課題ではないでしょうか。

連合会加入クラブが減少する中で、事業への参加者は年々減少傾向で、今一步盛り上がりがないように感じています。

そのような中でも、当支部の特徴的な事業である「第二成人式（年度内に80歳を迎える方を祝う会）」を紹介します。この事業は、何年から始まつたかは定かではありませんが、20年以上前から実施されているようです。

この事業は開始当時から評価が良かつたようです。しかし、単独開催ではなく、運動会やグラウンドゴルフ大会との同日開催の実施で、参加者も多く盛大であつたようです。

しかし、近年では連合会加入クラブや会員も少なく、参加者は少数です。

そんな中でも、「80歳まで元気でいたいな」という想いを話してくれる会員もおられます。当支部としては、今後もこの事業を継続していくべきだと思っています。

朽木支部

新しい年を迎えて!!

老人クラブの会員が単位老人クラブ数も含めて減少していくのが、どの場面でも話題になつてしまふ。

この原稿を書くためと思って、他の老人クラブの広報誌なども読ませてもらつているが、どうしたら止められるかはわからない。それでも何となく、運営方法と事業にあるのではと勝手に思つてゐる。具体的に何もないが、参考になるのでは?と思えることがいくつかある。

ひとつは、去年の年末に小学生に「わら細工」



一年前に「後期高齢者」の領域に入りましたが、一歳変化しただけで自覚症状はありませんが、世間の見方は変化するということです。特に変わることなく過ごしています。物忘れは少し増えたような気がしますが、生活に支障が出るところには至つていません。身体の動きについては、早歩きは出来る。ミニ菜園の維持のため、鍬・鎌は使える。車の運転も支障はない。と自信（一応高齢者講習は通過）。睡眠時間も寝起きも大丈夫。月に数回の付き合いゴルフ。夏は数日ごとの芝刈り、冬は除雪作業で体を動かす。今のところはまだ大丈夫。しかし一昨年末忘年会をした60年来の友人が新年早々この世を去った時には、夜寝る前にも自分もこのまま朝目が覚めないので？…と、数日間ドキドキしながら、ベットに入ったことが思い出されます。

後期高齢者になつて!!

「老人のつどい」 盛会裏に終わる!!

皆さんにご参加頂きました。(感謝・感謝です) 演者のお三方や大勢の参加者の情熱に「熱気」が「ムンムン」したり、エアコンが効かない有様でした。



まで 高島の「伊黒会講所」は放して「老人の一日」を開催しました。

老人の「とじ」
毎日裏に繰れる！

高島支部
「秋の祭典」
盛会裏に終る!!

さらに、炭焼き。炭焼きの技術を伝えていくため、炭窯を作り、年4～5回炭を焼いているが、最近年齢を問わず、地域外の人も見学に訪れている。こうした事を参考に、老人クラブ外のグループとの交流と若い人との交流について考えてみてはどうかと、思いを巡らせている。

「老人クラブ」という名前のことと言えば、朽木支部市場老人クラブ『寿楽会』(じゅらくかい)というネーミングに興味がある。

の一つとしてしめ縄づくりを教えた時の子どもたちの真剣さと、子どもそつちのけの親の一生懸命さを見た時。もう一つは、他のグループとの共催。地域の実情もあると思うが、当支部では、他の団体と一緒に学校周辺の草刈り・草取りを年2回実施している。このことを機に、他にも機会があれば、声を掛け合うことになった。

《つもり違いの十か条》

そのつもりで頑張りましょう

- 高いつもりで低いのが教養
 - 低いつもりで高いのが気位
 - 深いつもりで浅いのが知識
 - 浅いつもりで深いのが欲望
 - 厚いつもりで薄いのが人情
 - 薄いつもりで厚いのが面皮
 - 強いつもりで弱いのが根性
 - 弱いつもりで強いのが自我
 - 多いつもりで少ないのが分別
 - 少ないつもりで多いのが無駄

「湖南市会報からの抜粋」

てはホットさせて頂いた事を末尾に書き添えて頂きます。
お元気で いきいき人生を!!
ご参加いただいた皆さん
ありがとうございました



社会情勢の急激な変化と著しい少子高齢化の進展、そしてロシア・ウクライナ戦争を始めとする戦争。加えて世界中の異常気象、頻発する大地震、物資不足等の極めて厳しい社会情勢の中、住民意識や生活スタイル等も大きく様変わりしていきます。

令和5年になり、数年間人々の恐怖を煽ってきた「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の分類がようやく「第2類」から「第5類」へ移行され、以前の生活に戻りつつありますが、不安は完全に払拭された訳ではありません。

こんな世情の中であっても、人々の考え方は一向に変化なく、高齢者は自分自身で、若者に頼らない生き方をしなければなりません。

元気で楽しく生き抜くには、地域でのお互いの助け合いや支え合い、そして仲間づくりが真に必要です。

特に、高齢者の多い地方での生活には、ご近所や仲間同士の助け合いと支えあいがなければ、生活が出来ません!! その受け皿となるのは「老人クラブ」です。是非ご入会頂き、残された人生、共に助け合いながら、過ぎ去った昔を語り合いながら、残された人生を楽しく送ろうではありますか!! ご入会を心よりお待ちしています。(事務局)

世の中の寿命年齢はどこまで伸びるのか。その平均年齢まで生きれるのか。こんなことを思うのは高齢領域に自分が入った証明。でも自覚症状はない。今までと変わらないと思い込んで70歳で退職したことと同じ行動パターンをしているようですね。これからは、一年先、あるいはその先自分は何をしているかを考えながら、もう少し健康で、趣味を生かし、遊びながら家族子どもたちに世話を

コロナウイルス感染症が第五分類となり久しい時期でしたが、滋賀県下特に高島市ではコロナと共にインフルエンザも、発生（流行）を見る中での開催のため、充分な対策を講じての開催でしたがそれでも参加者の皆さんには久しぶりに親しい人と会えた喜びや、みんなで一緒に話し合えるなど楽しい一時を過したと大変好評を博したものです。（事務局談）